



- 2. 会長挨拶
- 3. 静岡県健康福祉部理事挨拶
- 4. 保育士養成施設との意見交換会
- 6. 民間園長研修会
- 8. 育児相談研修会
- 9. 施設長研修
- 10. ぶらんこ・会員園紹介
- 13. 保育園・こども園の社会貢献活動
- 16. 委員会報告
- 18. 各支部青年部活動報告
- 19. 支部だより



会長挨拶



静岡県保育連合会会長

土山 雅之

令和六年度末が迫り、令和七年度への引き継ぎと準備に慌ただしい毎日を過ごされていることと存じます。日頃より、静岡県保育連合会の各事業につきまして、皆様のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて少子化は加速度的に進み、令和六年の全国の出生数の推計では六九万人程度となることがわかりました。初めて八〇万人を割り込んだ令和四年からたった二年で六〇万人代になってしまいました。園児数の定員割れも目前に迫っている状況に、今後の運営をどのようにしていくか、真剣に考えなければならぬ時期になっていると言えます。国は多機能化へと舵を切れと旗を振っていますが、多機能化しようにも、その為の費用も必要ですし、そもそも人口減少による過疎化で多機能化にできない地域も多々あると思われれます。

また、地域差が激しくなり、全国的に見れば東京や横浜などの大都市圏と、それ以外の地域との違いがはつきりしてきています。静岡県内でも、東海道沿線とそうでない地域の差が拡大し、全く異なる対応策を考えなければならぬ状況です。

現在、静岡県は「しずおかこども幸せプラン」という名称でも計画を策定しています。その中でも今後の乳幼児教育の重要性を取り上げています。令和七年度には県内各市町も「子ども計画」を作成することと思えます。その際には各市町の乳幼児教育の方向性を定めるために、ぜひ意見を伝えていただけたらと思います。

国の制度としては令和六年度末に「新子育て安心プラン」が終了するため、新たに「新子育て安心プラン」後の保育提供体制という名で方向性が示されました。「誰でも通園制度」も令和六年度一八自治体の試行を元にブラッシュアップされ令和七年度においては多くの市町がとり組む方向で動き始めています。その他、保育DXによる現場の負担軽減、保育士不足への対応、初めの一〇〇ヶ月の育ちビジョン、処遇改善加算算の一本化、一〇・七%の人事院勧告、架け橋プログラム等々様々な施策が示されました。少子化と乳幼児教育の大切さを国も自覚していると言えるでしょう。また、保育指針や教育保育要領も令和九年の改訂に向かって動き始めました。

このように、国の子どもに対する施策が大きく動き始めており、さらに少子化によって、

一人一人の子どもに対する周りからの思いが大きくなってきている現代、各園、各保育者とも社会から乳幼児教育の専門家集団としての期待には大きなものがあると思います。

静岡県保育連合会としても、様々な施策や方針について、少しでも早く情報を伝え、県内各園の対応準備の時間を確保できるように努めていきたいと思えます。また、保育者の資質を高めるためのキャリアアップ研修も継続して実施し、県内の保育の底上げを図っていきたいと思えます。ぜひ皆様のご理解とご協力をお願いし、私の所感とさせていただきます。

表彰者

おめでとうございます

◆全国保育協議会 会長表彰

- 沼津市 かぬき保育園 園長 古田 美穂 氏
- 沼津市 しんあい保育園 主任保育士 石垣 薫 氏
- 三島市 白道こども園 調理師 嶋野美恵子 氏
- 富士市 保育士 齊藤 芳江 氏
- 富士見台リズム保育園 保育士 小貫 直美 氏
- 保育士 宮川 喜子 氏
- 保育士 勝又 敏子 氏
- 保育士 漆畑 千晴 氏

御挨拶



静岡県健康福祉部理事（少子化対策担当）

高橋 真一郎

早春の候、益々御清祥のこととお喜び申し上げます。会員の皆様におかれましては、日頃から本県のこども・子育て支援施策の推進に格別の御協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

昨年十二月、こども家庭庁から、令和七年度から十年度末を見据えた「保育政策の新たな方向性」が発表されました。待機児童対策を中心とした保育の「量」拡大から、地域のニーズに応じた「質」の高い保育の確保・充実へと政策の軸を転換するとしております。

保育の質の向上を図るためには、保育士を十分に確保するとともに、こどもを信頼して預けることができる安全・安心な保育体制の強化が必要です。

県では、来年度から、国に呼応して、保育士の処遇改善とともに、一歳児の保育士配置基準の改善に基づき支援を行ってまいります。

また、将来的な保育人材の確保のため、新たに保育士の職業としての魅力を中学生や高校生等に向けて発信する事業に取り組みほか、貴会の御協力のもと実施しているキャリアアップ研修の受講機会を拡充してまいります。多忙な保育現場の環境を改善し、質の高い保育の場を築くために、皆様と連携して取り組んでまいりたいと思っております。

さて、本年四月から、こども・若者施策の新しい基軸となる「しずおかこども幸せプラン」がいよいよ始動します。この計画では、基本理念を「すべてのこども・若者の『こえ』をまんやかに、誰もが自分らしく幸せに生きることが出来る社会の実現」として掲げ、アンケート調査に加えオンラインプラットフォーム「こえのもりしずおか」を開設し、こども・若者等から意見を聴取しました。特に小学生や中学生を中心に多くの意見が寄せられ、いただいた意見を積極的に計画へ反映しております。

今後、こどもたちの最善の利益が保障される「こどもまんやかな社会の実現」を目指し、幅広い年代層のこども・若者や保育に携わる支援者の方々の現場の声を伺いながら、こども・子育て支援施策に全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県保育連合会の益々の御発展及び関係の皆様御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます、御挨拶といたします。

浜松市 初生保育園

保育主任 小坂友紀子 氏

袋井市 袋井市立山梨こども園

教頭 館石久美子 氏

◆日本保育協会

*永年勤続表彰（職員）

沼津市 恵愛保育園

保育士 堀井 佳子 氏

島田市 大津保育園

保育士 小山 誠子 氏

磐田市 いずみ第三保育園

保育士 杉浦 裕子 氏

藤枝市 藤枝聖マリア保育園

保育士 菊川 郁野 氏

栄養士 鈴木三恵子 氏

保育士 志白 水穂 氏

掛川市 おおぶちそよ風こども園

保育教諭 白松久美子 氏

磐田市 いずみ第二保育園

保育士 粟倉 輝美 氏

◆全国私立保育連盟

*保育功労賞

焼津市 焼津南保育園

園長 金高 久美 氏

牧之原市 あおぞら保育園

園長 松下 玲子 氏

富士市 中里保育園

主任保育士 渡邊 由美 氏

令和六年度 保育士養成施設との意見交換会

令和六年七月二十三日、静岡県総合社会福祉会館シズウェルにおいて、令和六年度保育士養成校と静岡県保育連合会の意見交換会が開催されました。県内及び周辺県の保育士養成校十八校と静岡県社会福祉人材センター、そしておおか保育士・保育所支援センター、そして当会の正副会長及び理事・研修委員が参加して活発な意見交換が行われました。

土山雅之会長、吉川慶子県保育士会長のあいさつの後、しずおか保育士・保育所支援センターより、活動内容の説明がありました。続いて、参加の養成校に事前に協力いただいたアンケート結果について、研修委員会から説明をしました。

※アンケート結果一部抜粋

◎県内養成校の卒業生数は毎年一〇〇名程度ずつ減少傾向にある。令和六年度月入学者数は九二〇名、令和五年度卒業生一、二〇〇名、令和六年度卒業予定者は一、一〇〇名程度。
◎県内の保育所・認定こども園の就職者数の推移

	東部	中部	西部
令和三年	115	146	182
令和四年	124	145	203
令和五年	108	173	192

(単位：人)

その後、二つのグループに分かれ「就職について」「実習について」を各メインテーマとして意見交換が行われました。主な意見は次の通りです。

《グループ・就職について》

① 現場が求める学生像

(養成校参加者より)

・学生は実習や就職前にどのような準備が必要か、どのような姿勢で取り組めばよいのか等の悩みや心配を抱えている。高校生時代をコロナ禍で過ごしたこともあるのか「失敗したくない」という思いを強く持つ学生が多いと感じる。



(県保連参加者より)

・実習生として、職員として、その園で何をしたいのか目的をしっかりと持ってきてほしい。園の方針や取り組み内容を理解し共感してくれる学生に来て欲しいと思う。
・自分のやってみたいことを行動に移すことができる学生に魅力を感じる。

② 人材育成

(養成校参加者より)

・養成校では卒業生が学校に戻って学び直すことができるような体制を整えている。園は保育士の学びについてどのように取り組んでいるか。

(県保連参加者より)

・キャリアアップ研修等の保育の質の向上につながる研修会への参加を進めている。今後施設側も養成校のカリキュラム等を活用したリスキリングができるような体制を整える必要性を感じている。

③ 学生の多様化への対応

(養成校参加者より)

・学生の個性や性格に起因したトラブルに配慮が必要になっている。

・養成校入学時点でその学生に対して指導、配慮ができる体制があるのかを判断していく必要があると感じている。

(県保連参加者より)

・学生の個々の発達特性に配慮する必要性は理解しているが、命を預かる施設でもある中で、実習の評価判定ができない事例もある。

④ 就職活動、就職フェア

(養成校参加者より)

・ SNS等で簡単に情報を得ることができるようになった。逆に足を運んで情報を得ることが少なくなっている。

・ 学生は新任の保育者と話をしたいと感じている。

(県保連参加者より)

・ 就職フェアでは学生が事前に情報を集め計画的にブースを回っているように感じる。

・ 実際に園に足を運ぶことには、授業カリキュラムや園担当者との連絡取り次ぎに一定の困難さがある。園も養成校もお互いに学生の就職活動の環境を整える必要がある。

《グループ2・実習について》

(県保連参加者より)

・ 県保連では現在、保育実習受け入れマニュアル作成委員会を立ち上げ、実習の受け入れ態勢を整えている。

① 多様化する学生

(養成校参加者より)

・ 合理的配慮を必要とする学生など、学生の質も幅が広がっている。

・ 実習中の合理的配慮はどの程度可能なか。

(県保連参加者より)

・ 合理的配慮の必要性は感じている。園側として受け入れた上で、評価面での取り扱いに苦慮することがある。

② 責任・部分実習のあり方

(養成校参加者より)

・ 保育内容も多様化し、養成校側が示す指導計画が実際の内容と合っていないのではないか。

(県保連参加者より)

・ 子どもの主体性に重点を置いている園では、環境の一つとして実習生がコーナーを設け、そこを部分実習として取り扱っている傾向がある。

③ 実習記録(実習簿)の扱い

(養成校参加者より)

・ 実習簿の様式や提出方法について、現在は個別にデジタル化をしている例もあるが園側としてはどうか。

(県保連参加者より)

・ 園の判断によるが、オリエンテーション等で事前に相談してもらいデジタル化での提出も受け入れている。

・ 実習簿については、様式や文字量等について養成課程上の制約はあるのか。

(養成校参加者より)

・ 内容、量ともに特に決まりはなく、各学校の考え方により作成されている。ただし、実習を行ったという根拠書類を残すことと、文字で書き表すことは必要なことだと考え、いずれかの形で作成を義務付けている。

④ 実習評価の仕方

(県保連参加者より)

・ 内容によっては実習評価を「不可」として判断せざるを得ない学生もいるが、そうし

た場合は資格の取得も不可となるのか。

(養成校参加者より)

・ 実習園での評価に加えて、学校での評価等を総合的に捉えて評価するため、園側は実習の評価として判断いただきたい。



《おわりに》

養成校のアンケート結果でも見られるように、保育士の人材確保とその育成は養成校と園とが協同して取り組むべき喫緊の課題だと言えます。中高生が進路を考える時、保育という仕事に夢が持てるような取り組みが次世代の保育士確保へと繋がるはずですが、引き続き、養成校と園による意見交換の場や日々の情報共有を活発にすることで具体的な取り組みの実践に繋げることが求められるのではないのでしょうか。

令和六年度 * 民間園長研修会 *

日時 令和六年十一月二十日～二十一日
会場 ホテルアンビオ松風閣 富士の間

今年度の民間園長研修会は、焼津市のホテルアンビオ松風閣にて実施されました。

【開講式 県保連

土山雅之会長挨拶】

土山会長からの挨拶では、過疎少子化問題について言及し、他県の地域によっては定員割れがより加速し、秋田のある施設では年々十名ずつ五年間で五十名も子どもの預り数が減少している現状があると報告されました。近い未来の静岡県内でも同様の状況が起こる可能性があり、それらに危機感を持って備えなければならぬ時期であることを共有して頂きました。

【講義①】『保育行政の動向について』

静岡県健康福祉部こども未来課長

松本 文氏

静岡県における、次世代育成支援の取組や子育て支援の現状と対策等についてお話をしより進行了し、令和五年は一・二五と令和四年より〇・〇八低下しました。



若年層の結婚に対する意識調査において、将来結婚をしないと思う理由として、「子どもを育てたいと思っていないから。」という項目が女性三位・男性五位にランクインしております。それを裏付けるように、県内の若い世代向けの結婚・子育て等ライフデザイン応援事業の中で、中学生を対象にした講義では、女子中学生から「私は、子どもは要りません。お金が掛かり、自分の時間が無くなるから。」という意見を聞いたそうです。



松本氏は、そのはつきりとした意思表示の言葉にショックを受けながら受け止めつつも、「子育てって素敵だな。楽しいな。」と前向きな気持ちを持ってもらいたいと思うと共に、そのためにはもともと県内の環境を子育てし易く整備していかなければいけないと決意を新たにされたそうです。

その他、保育人材確保・保育環境向上や県内で起こった置き去り事故の対策や、不適切保育防止に向けた取組についてご説明頂きました。

【講義②】『子どもも大人も生き生きと幸せに暮らしていける学校(まち)をつくる』

茅ヶ崎市立香川小学校

山田 剛輔氏

通知表をやめた小学校」として知られている茅ヶ崎市香川小学校の授業実践について山田先生より講義頂きました。

「通知表が子どものため」は本当か。ペーパーテストは信頼性・妥当性・客観性が高いのか。誰かが設定した目標に到達したり有るべき姿にならないといけないのか。それよりも『自分を生きる』ことが大切ではないのか。



では通知表を廃した学校の授業実践とはどのようなものなのか。山田氏の実践理論としては、子どもが生きる文脈上の状況における学びとは、より良い学校や地域を作ることには貢献する文化的な実践であり、そのため子どもが生きる状況の中に教科の学習内容を埋込むようにデザインしているそうです。

その後、スライドを交え授業実践についていくつもの事例を教えて頂きましたが、ここでは小学校一年生の教室表示プロジェクトについて紹介します。一年生の初旬に、子どもたちの希望により校内探検を実施しました。そこで一年生から、「教室名の表示が漢字のみのため、何が書かれているか分からぬい。」という意見が出ます。それを受けどうしたら一年生でも解る教室表示になるのか。「絵やひらがなのみの表示であればみんなが分かる。」という意見がでて、皆で学校内にはどんな教室の表示名が在ったのかを洗い出

します。そうすると〇〇室というように、必ず語尾が「しつ」で終わることに気が付きます。その流れで、ひらがなの「し」と「つ」が書けて、その前にある〇〇が書ければ、教室表示に必要なひらがなが習得できることに気が付きます。そうしたらまずは皆で「し」と「つ」が書けるようになるという学習の流れになります。教室の皆はそれぞれ真剣に書き取りをします、旧来の書き取りの授業風景とは全く異なる光景です。一年生でも読める表示名を作れるようになりたいという目的のために一心不乱に取り組めます。書きなさいと言われて書くものとは全く違います。

必要なひらがなを書けるようになった一年生は、休日に保護者にも参加してもらい表示のための木を切る作業を行います。教室表示の文字数と一致する、必要な木の数を数えるのは一年生の役目です。木の数え方にも子どもならではの工夫が見られます。五個の木を一グループにして数える子。教室表示名の文字を紙に書いたものを一枚一枚木の上に乗せて数を合わせていく子ども。主体的に数の数え方を実践で学びます。

そうしてできた教室表示を差し替える為に子どもたちだけで校長先生に許可を取りに行きます。なんで平仮名と絵だけの教室表示を



作っているのか。私たち以降の一年生でも読めるようにという目的をきちんと説明できていたそうです（人にお願いをする、自分の思いを伝える実践）。「いいことをしているね、ありがとう。それを全校に伝えてね。」校長先生の言葉により、今度は表示名をひらがなに替える校内周知のため、動画・チラシ・ポスターを班に分かれ作ることを決め、作成物を掲示する為に保健室・図書室の先生にお願いしに行く。放送室で放送をする。これらの活動を通して、子どもたちが協働し、主体的に色々なことを学び周りの大人たちと関わりながら目的を遂行していく、そしてやり遂げた達成感を皆で味わっている様子が伺えました。その他には、公立学校でもできる、公立学校だからこそできる、と山田先生が仰るように、公立の強みである地域との連携を大切にした素晴らしい教育実践を教えてくださいました。

【講義④】『イーちゃんの白い杖』

〜完成までの道〜

テレビ静岡報道制作局 橋本 真理子氏
最後の講義は、テレビ静岡で長年報道番組に携われた高橋氏による講義でした。報道現場を詳しく紹介すると共に、取材の積み重ねにより制作したドキュメンタリー番組について制作側の視点からお話頂きました。
『こちら用務員室』
では、用務員室が日々



ストレスを抱える子どもたちにとって何でも言えて怒られない憩いの場となっており、唯一学校の開校時から居てずっと学校を見続けてきた用務員さんの視点で教育現場を伝えた作品となっています。用務員さんが子どもとハイタッチして行ってきました、行ったらっしやいの挨拶をしたり、ネグレクトで朝食が無い子どもに用務員室でパンを食べさせたり、こういう大人たちの見守る環境により子ども達が支えられていることを理解できました。

『イーちゃんの白い杖』では、高橋さん自身のご家族や会社での体験から感じていた『障害は恥ずかしいことである、可哀そうである』という世の意識を変えたいという想いが強くあつたそうです。障害を抱えるが天真爛漫なイーちゃんを含む小長谷ファミリーを伝えることで、こんなにも私たちに元気と感動を与えてくれるんだということを伝えられたらいいなと仰っていました。長年、イーちゃんに寄り添い、中学校時代のどん底の時期には長谷川さんはイーちゃんから厳しい言葉を掛けられたそうです。それでも、近年ではイーちゃんの結婚を機に明るく前向きになり「見捨てないでいてくれてありがとう」という言葉を放映会でのビデオレターで頂いたそうです。その中で、「私は人を幸せにするために生きてきた。他の人には見える眼があるけど、私には心の眼がある。これからも毎日楽しく生きたい、生きていくことが幸せな社会になればいい」というメッセージを会場に送っていました。

令和六年度 育児相談研修会

期 日 令和六年八月二十九日（木）

会 場 プラサヴェルデ 3階「ホールB」
テーマ

『保育者のコミュニケーションを考える
～あなたがかたな人間関係を育むことを
目指して～』

講 師 東海大学文化社会学部

教授 有沢孝治 氏

沼津市にあるプラサヴェルデにて育児相談研修会が行われました。県内から一〇九名もの申込みがあり、当研修への関心の高さが窺えました。

しかし、当日は台風の影響ため、五十一名が欠席する中、五十八名の方が参集し講義が始まりました。



午前は保育者のコミュニケーションの基礎について講義していただき、午後はグループ活動を通して、対人相談場面における様々な要素を踏まえたスキルについて、実践的な体験をしました。

講義では「保育者にとってコミュニケーション能力は保育の質への影響だけでなく、職場の人間関係や保護者との信頼関係を円滑にする大切な要素である」という観点から、まず「聴くこと」に関する考え方や、態度、技術を知り、更に「相手の立場に立って聴く」ため、最後まで聴く、感情に表情を合わせる、相槌の仕方、大切な言葉は繰り返し伝え聴く、等の傾聴スキルがあることを学びました。



グループワークでは「あなたがかたな人間関係を育むために、最適な対人距離、相談場面での座席の空間配置とその効果、相手との関係性に応じた視線の使い分け、頷きと相槌の違い、態度と仕草の留意点、笑顔の効能などの各要素に焦点を当て、参加者同士で一つ一つ体験しながら楽しく学ぶことができました。

最後に参加者から現場ならではの質疑もあり、丁寧な助言と共に保育者への労いと励ましの言葉を頂きながら閉講となりました。全体を通じて実践的で学びの多い講義を頂き、参加者にとっても有意義な研修となりました。



令和六年度 施設長研修会

施設長研修会が、一二月二十日（金）静岡市駿河区のグランシップ会議ホール・風にて行われました。子ども・保護者の多様化だけでなく保育者も多様化の時代に、子どもの最善の利益を保証し、かつ安定した施設運営・管理を行うため、施設長としての役割を再認識し資質向上を図る事を目的として研修が開催され、静岡県内より多くの施設長の皆様が参加されました。研修では、三つのテーマと会長講話を含む四つの内容にて行われました。

講義① 『少子化社会における保育の動向』

～子ども誰でも通園制度を中心に～

講師 武庫川女子大学

教授 倉石哲也氏

子ども誰でも通園制度のことも大綱における説明から始まり、子ども家庭庁の動向や未就学児の実態、制度の理念や意義と課題等を聞くことが出来、その上で実践している施設の状況などのお話を聞かせて頂きました。



講義② 『保育人材養成会議報告』

～働きやすい職場とは～

講師 たかつか光こども園

副園長 中村友哉氏

全国保育協議会の保育人材養成会議での議論や研究をした経験、自園での取り組みなどを踏まえてご講義して頂きました。人材不足はこの園でも起こりうる、または起きている課題であり、採用だけでなく保育者がいかに続けていける様に工夫が必要である事がわかる内容でした。そして、その実行をいかに早く行えるかなど考えさせられる講義となりました。

講義③ 『職員の多様性を活かし、

チームで実現する保育の質』

～施設長のリーダーシップと

組織マネジメント～

講師 洗足こども短期大学

教授 井上眞理子氏

組織マネジメントの中で行う業務改善のポイントや考え方、方向性を示す事の重要性をお話し頂き、幼保連携型認定こども園保育要領や保育所保育指針を踏まえたこれからの在り方をご講義頂きました。その中で、これからのリーダーシップの定義や必要な考え方を教えて頂き、そしてその先にある「人材」

と「組織」の資質向上こそ保育の質を高めていくと、学ぶ事が出来ました。

講義④ 『保育情勢報告』

講師 静岡県保育連合会

会長 土山雅之氏



現在の保育における情勢報告をお話し頂きました。近年の出生数の低下、それに伴い幼稚園・保育所等の利用児童数の変化、五歳未満の人口の将来推計などの資料をもとに今後の変化をお話しされました。次に保幼小の接続について説明と見解を述べられ、令和六年度補正予算の内容に触れられながら今後のこども園や保育所の運営にかかわる内容をご講義頂きました。

裾野市 ぽんぽん石脇こども園 副園長 大澤 豊先生



お腹（ぽんぽん）の中のような安心感ある場所であるように。そして、感動や喜びがたくさん（ぽんぽん）生まれる時となるように。と名付けた系列園の開設から九年が経

主導となり準備をしてきたお祭りや相撲大会。その過程のドラマは、ドキュメンタリーシヨンで保護者と共有をして子どもと保護者職員が一丸となり迎えた当日の雰囲気は凄まじいものがありました。他にも、年長児が指導役と裏方をやる年中児のための音楽会のオペレッタ。年長児の保護者には、製作側にいる子ども達の日々の姿を参観してもらいました。子ども達が多くの役割の経験とたくさんの感情を覚える環境設定をこれからも心掛けていきたいと思っています。

ち、この度、ぽんぽん石脇こども園（定員七五名）が、令和六年四月一日に開園しました。

カリキュラムや行事にしばられず、たった今ここで生まれた心に触れ、子どもと保育者が共に学び合える空間を目指してきた保育は、紆余曲折ありながらも、それが表現できるようにになり、また、保護者にその価値を認めてもらえるようになってきたと自負しています。

約一年という長い期間をかけ、子ども達が

ただ、当園は一年目。数年間は出来ることに限りがあると思っています。まずは、子ども達の心に寄り添い、焦らず、一生懸命でできることをやる。そして、「生きるって楽しい」を持ち続けられる人生であるために、「生きるって楽しい」を感じ取れる環境であり続ける。という理念に基づいた職員間の価値観の統一を、時間をかけて、失敗や挫折を繰り返しながらも築いていきたいと思っています。

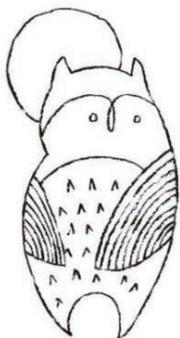
園舎は、富士山がバックにそびえ立つロケーションに、幼児と乳児が東西に分かれた設計になっています。その中央には、食事を楽しく取れるように、扉を開けるとオープンキッチン仕様になる給食室と、吹き抜けのランチルームを設置しました。幼児の教室前には、アトリエコーナを設置し、数多くの資材を



子ども達が自由に選択できるように配置する予定です。園庭には、季節を感じることを出来る樹木と複合遊具、砂場、すり鉢サークル、アトリエパーゴラ、築山、ジオトープ、ヒューム管トンネル、畑等を用意し、

普段の遊びを充実させることを意識しています。また、近くを流れる川の、万が一の水害から身を守るため、一時避難が可能なロフトとベランダを整えました。

「大好き」がいっぱいある園で、夢中を積み上げていく環境づくりに邁進しながら、地域に愛される園を目指していきたいと思っています。また、先輩方が築き上げてきたこの業界に、新たな力として微力ながら貢献していきたいと思っています。何卒、よろしくお願いたします。



牧之原市 勝間田保育園

園長 朝比奈いずみ先生

今回の中部ふらんこは牧之原市にある勝間田保育園にお邪魔させていただきました。勝間田保育園は元々公立の保育園でしたが、令和四年に牧之原市社会福祉事業団の保育園として再スタートしたとの事です。



園の周りは豊かな自然に囲まれ、のんびりとした雰囲気になりました。取材に訪れた日は前の週末が運動会だったこともあり、たくさん園児さん達が園庭で楽しんで運動会遊びをしていました。

運動会遊びの様子を暫く見学していると、先生が「お野菜の収穫に行くよー」と園児さんたちに声をかけました。聞けば勝間田保育園では食育に大変力を入れており（保育研究大会では全国大会での発表もしたそうです）、この日はみんな育てたお野菜の収穫に行くと言うので一緒に畑に行かせていただきました。園から歩いて五分ほどの畑に着くとホウレンソウやレタス、色々なお野菜がたくさん

畑に植えられています。みんなでお野菜の話をしていくとすぐ近くに軽トラックが停まり、車から農家の方がおりてきました。降りてきたのは実は保護者さんで、土地柄、農家をさしている保護者さんが多く、保育園に畑を貸していただいたり、育て方のアドバイスをいただいたりしているそうです。また、「そうめんかぼちゃ」「ころたん」など私たちが聞いたこともないような名前の野菜を育てたりと子どもたちにとって食育にプラスして新しい発見やドキドキワクワクにもなっています。さて、車から降りてきた保護者さんがお野菜の収穫方法を園児さんたちに教えてくれると「○○さん、ありがとう」と大きな声で応える園児さんたち。その後は全員でたくさんのお野菜を収穫できました。小さなクラスの園児さんたちは収穫さ



れたお野菜を触ったりして野菜の匂いや感触を楽しんでいました。

他にも地域の農家さんが園がお休みの時にお野菜に葉かけをしてくださったりもしているそうです。なお収穫したお野菜は給食室での給食に利用しているとの事で、収穫後は園児さんたちみんなが給食の先生に「おねがいします」のご挨拶。みんな協力して育て、収穫し、いただく野菜はとても美味しい事と思います。今回取材をさせていただき、本当にたくさんの方が子どもたちの育ちと食育を応援してくださっている事が伺えました。お忙しい中、取材に応じてくださった先生方、本当にありがとうございました。



浜松市 まつのき保育園 園長 竹内映晴先生

今回、取材に訪問させて頂いた「まつのき保育園」さんは、百十名定員の保育園です。浜松市中央区の南西部に位置し、同敷地内に十二名定員の小規模保育事業所みかんの家と、一日十名定員の児童発達支援事業ころる伊場との複合施設となりました。

車通りの多い道から一本中に入り、閑静な住宅街と、東隣の高台にある県立浜松西高等学校の下の大きな林のある立地でした。

三施設の保護者や職員の方が共同で利用する駐車場は八十台程のスペースが確保されていて、運動会や発表会等の園内行事は全て保育園で、合同で行っているそうです。

保育目標は「生きる力を育む保育」「違いを認め、どの子も共に」「親仲間づくり」の三つを掲げており、こどもたちの発信を十分に受け止めることで、こども自身に安心し、自分の気持ちや表現することを大切にしていくそうです。



乳児クラスは、こども同士、トラブルは、お互いに思いが

あることを理解し、その思いを保育者が代弁して、こども自身が自分の気持ちに気づく機会を保障しているそうです。

幼児クラスは異年齢の日と学年の日を組み合わせながら、生活や遊び、行事を通して、こども同士が思いを交流する機会を作り、色々な仲間と一緒に生活すること、遊ぶこと、行事に向かうことが楽しいと感じられるようにしているとのことでした。

また、同施設内にある児童発達支援事業所へ併行通園している児童も十名程いて、毎日複数名が利用しているため、月に一回は保育園の学年担任と児童発達支援事業所の担当者が、こどもの状況を確認する会議を行い、丁寧に関わる環境を整えているそうです。

これらの関わりが十分に叶うように、一、二歳クラスは正規保育士三名に非常勤保育士一〜二名。幼児クラスは正規保育士が三学年に二名ずつ配置されていました。

玄関を入ると廊下に枝付きの柱が二ヶ所あり、こどもたちは自由に登って遊んでも良いことになっていました。



○歳児室は給食室の隣でつながっており、部屋の中から給食の受け渡しや相談ができる環境になっていました。

食育活動にも力を入れていて、園庭の一部を畑にして、玉ねぎやカブ等の野菜を育てていました。

取材日は二歳児クラスが、園の畑で採れたサツマイモを一人ずつ包丁で切り、茹でて漬して茶巾絞りをしている最中でした。

また、年長のこどもたちは毎日お米を研いで炊飯をし、クッキング活動が日常的に行われていることを感じました。

保護者会活動も活発に行われていて、取材をした十二月は、遊戯室で保護者や保護者の親族が日本舞踊とピアノコンサートを行う会と、餅つき会が行われるとのことでした。その他にも、祝日に園を利用してバーベキューやクリスマスリース作りを行い、保護者もこどもも交流する機会を作っているそうです。

最後にお忙しい中、快く取材に協力していただいた、まつのき保育園の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。



保育園・認定こども園の 社会貢献活動

（子育て支援啓発活動事業
助成金交付事業）

駿東郡清水町 第五回 しみずっこまつり

令和六年十月二十九日（火）すこやか保育園アリーナにおいて、令和六年清水町民間保育園内子育て支援センター合同イベント「第五回 清水町しみずっこまつり」を開催しました。

清水町内の民間園、しいのき保育園、すこやか保育園、恵明キッズローズビレッジの三園が協力し、各園の支援センター職員が中心となって楽しい親子イベントを行うことができました。



当日参加した親子さんたちは、九時半ごろに受け付けをすませ、約一時間アリーナ内のトランポリンやエア滑り台、また、自由遊びコーナーなどで用意された手作りおもちゃなどでそれぞれ楽しんで



でいました。会場内にはおむつ交換コーナーも含めたトイレ、また授乳コーナーの用意もあり安心して利用していただけたようでした。その後、十時半に一同中央に集まり、主催者代表として令和六年度清水町

民間保育園長会会長である二橋園長の挨拶の後、司会者より各園の子育て支援センターの職員スタッフの紹介、本日の流れ、諸注意などの説明をした後、「ゆきこ先生とフレンドミュージック」による「親子で音楽遊び」ということで、ピアノ・フルート・トロンボーンの生演奏で音楽遊びを楽しみました。終了後には、各園の子育て支援センターの職員の手作りおもちゃとお菓子のおみやげもあり、参加した親子さんたちはとても喜んでくれました。帰りに簡単なアンケートを記入していただき、たくさん体を動かして遊べて楽しかった、大きい滑り台やトランポリンを楽しく利用できた、コンサートが良かった、生演奏を親子でたのしむことが出来て良かった

た、楽しい時間であったという間でした、昨年参加した、また来年もやってほしい、今後子育て支援センターを利用したいなどの意見がたくさんありました。一方で赤ちゃんのおもちゃコーナーをもう少し広くしたり赤ちゃんのおもちゃの数も多くした方が良かったなどの反省点もありました。子育て支援センターの存在を知らなかったという方も数名いたので、子育て支援センターのPRについて積極的に行っていくことの必要性も感じました。

当日は、清水町はもちろん、近隣の市町からの参加者もあり、約百名の参加がありました。

清水町民間園子育て支援センター合同イベント委員会では、地域の子育て親子さん支援のため、今回の良かったところや反省点も含め、来年度第六回に向けて、また計画を立てていきたいと思います。



子育て講演会

焼津市保育園保護者会連合会
焼津市保育園協会 共催

一九八二年（昭和五十七年）焼津市内の公立・私立の保育園の保護者会が集まって焼津市保育園保護者会連合会が組織されました。焼津市保育園協会との共催で毎年、海岸を親子で清掃する「親と子のふれあいクリーン大作戦」と子育てに関する講演会を中心とした



「子育て講演会」を企画して実施しています。この子育て講演会には連合会とその年の事務局（各園持ち回り）が中心となって今、求められることを中心に講師を選定し、講演会を開催してきました。例えば保育における学識者をはじめ、子育てを語っておられる方、動物園の園長さんもお迎えしました。時には、映画会やコンサートを企画したこともありま

す。基本は保護者、保育者が中心の企画ですが、親子でコンサートを楽しんだこともありま

す。コロナ禍の時にはやむを得ず、開催を見送ったこともありましたが、毎年、必ず、企画し、焼津市のご理解を得て開催してきました。今年度は十二月七日、「大人のための癒しのコンサート」と題し、シンガーソングライター、新沢としひこさんをお迎えして焼津市大井川文化会館ミュージコで三八〇人余りの参加者を迎えて開催しました。私たち、保育者にとつてはいつもそばにある新沢さんの楽曲を時には、体を動かしながら、時には絵本と共に、そして時には一緒に歌いながら、堪能しました。心が震えて、思わず涙がこぼれた瞬間も。まさに「癒しのコンサート」となりました。

どんな企画であれ、参加者を募るのに少々、苦労する昨今です。地元のラジオ局の番組でお知らせしたり、近隣の保育団体や養成校にも声を掛けてみたりと、今年度は新たな方法をういてみました。せっかくの一年がかりの企画です。これから様々なツールを活用して本会の活動を広く発信していきたいと考えています。



保育フェスタ二〇二四

浜松民間保育園長会

令和六年十一月二十三日、アクトシティ浜松展示イベントホールにおいて「保育フェスタ二〇二四」を開催しました。来賓に浜松市長中野祐介様、浜松市議会議長鳥井徳孝様を初め、浜松市こども家庭部長様、同幼保支援課長様他を、お迎えしました。一日を通して加盟園の職員、園児、保護者を含め五〇〇名程の来場者で賑わいました。

メインステージでは、開会式で当会の中村会長が挨拶をし、来賓からも祝辞をいただきました。オープニングコンサートはプロ女性奏者によるカルテット。こどもたちに耳馴染みのある演奏が披露され、身体を揺らしたり手拍子したりしながら聴いていました。

その後、加盟園の有志の職員による和太鼓演奏、ウクレレうたあそび、楽器演奏や・寸劇、体操等を行いました。パフォーマンズしてく



れた園のこどもたちが応援に駆けつけ一緒にステージを盛り上げてくれました。

浜松市消防局に依頼し、消防服を着る体験や消防車に乗る体験をさせてもらいました。また、地元金融機関の浜松磐田



」の方たちが保育園選びや、子育て相談をしてくださいました。

信用金庫は「一億円の重さ体験」「貯金箱づくり」等の企画を行いました。加盟園に所属する青年部のブースでは、室内遊具で運動あそびやプロック等の指先あそびを行いました。

浜松市内にある保育士養成校の三大学がそれぞれ企画を用意してくれました。聖隷クリストファー大学は、新聞紙で作ったドームに入り、新聞紙を破って出てくる体験を中心に、お絵かき段ボールハウスや木材で遊べるコーナーを行いました。常葉大学は、お花紙を团扇で舞い上がらせる体験や、丸めた新聞紙にカラフル素材をつけてキラキラ振って遊べる棒を作ったり、九千個の紙コップを積んで遊んだりするコーナーがありました。浜松学院大学は和紙を使って染め紙体験をしました。テントの中に、動物おみくじを置き、おみくじが当たると鈴が鳴るので、こどもたちはとても喜んでいました。どの大学も、親子で一緒に楽しめる内容を学生と先生たちで考えてきてくれ、参加者はとても満足そうにしていました。

学生からの提案で会終了後には、それぞれ

のブースを体験する機会を設け、交流を楽しみました。また、同日に開催されていた就職説明会にも参加していました。

その他、加盟園が生活・遊び・食育の写真を一枚提供し「写真の展示」を行いました。今後もフェスタを継続し、加盟園が行っている子育て支援の広報と親子で楽しめるイベントを提供し、地域の子育て世代を応援していきたいと思っています。



～活動の報告と計画～

研修委員会

委員長 桜木こどもの森 岡田博次

七月二十三日に保育士等養成校との意見交換会を開催し、実習・就職の二テーマを設け、養成校の先生方と活発な意見交換が行われました。別途、詳しくご報告いたします。

これまでに左記の研修会が終了していません。主な講師等のご紹介です。

●育児相談研修会（八月二十九日）

会場 プラザヴェルデ（沼津）

主な講師 有沢孝治氏（東海大学教授）

●民間園長研修会（十一月二十一日）

会場 松風閣（焼津）

主な講師 山田剛輔氏（香川小学校総括教諭）・橋本真理子氏（テレビ静岡報道制作局長）

●施設長研修会（十二月二十日）

会場 グランシップ（静岡）

主な講師 倉石哲也氏（武庫川女子大学教授）・井上眞理子氏（洗足こども短期大学教授）

今年度内の今後の計画は次の通りです。

○新規採用予定職員研修会（二月）

本年度の研修事業はいかがでしたでしょうか？ 来年度も時代や制度の変化に対応するべく、研修内容を検討中です。ご参加お待ちしております。

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

本年度の県への要望事項は、先号でお伝えした通りです。

みなさまご承知の通り、保育業界には、定員割れ、処遇改善、人材確保、長時間保育、物価高騰等、解決すべきさまざまな問題があります。ここ数年と同じく、配置基準の更なる改善を中心に要望しました。諸問題の中でも、とりわけ、この点に前進があれば、保育の質の向上にも保育者の負担軽減にも、直接的に大きな効果が見込まれます。

十月七日には、県会議員の方々にも、保育業界の現状をお伝えし要望を訴え、一定の御理解はいただけたと思います。財政的な問題も関係するので、早急な問題解決は難しいところですが、粘り強く声を上げていきます。

今に始まったことではありませんが、保育所等には、入所児童の保育だけでなく、地域の子育て支援の中心として機能することが求められています。誰でも通園制度の本格実施が予定されていますが、地域のインフラとしての役割が、より一層要求されていること表れでしょう。

その役割の重さに見合った制度や政策が実現するよう、今後も努めていきたいと思えます。

保育のしおり編集委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

この度、六年ぶりの改定作業を無事終えることが出来ました。

編集作業を行いながら、六年の間に保育を取り巻く社会情勢や制度の改定など多くのことが変わってきたことを改めて実感いたしました。

「保育のしおり」が活用していただきやすい物になるようまた、質の高い保育・教育の提供の実現を目指すことを改定の目標とし、職員の資質向上に寄与する内容になるよう編集委員一同知恵を出し合い作業いたしました。いつも手元に置き有効に活用して下さることを願っています。

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

令和六年度の静岡県保育士等キャリアアップ研修も事業計画通りすべての研修日程を無事終了することが出来ました。

昨年度までとは違いすべての研修が有料化されましたが、多くの申し込みをいただき三〇〇名以上の方が受講されました。

県担当課との協議も来年度の予定について進んでいるところです。一人でも多くの方に希望の分野の受講ができるようになればと思

質の高い保育・教育の提供ができるよう受講される皆様のキャリアアップが図れるような研修の提供ができるよう今後も協議検討を重ね実施できればと思います。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

実習受入マニユアル作成委員会
委員長 野中こども園 中村章啓

九月・十一月に二回の委員会が開催されました。他都道府県の保育団体や、保育士養成協議会などで作成された類似のマニユアル・ガイドライン等を参考にして、静岡県保育連合会独自のマニユアルの作成が進められています。

委員会には、常葉大学保育学部の柴田賢一教授にもスーパーバイザーとしてご参加いただいています。各委員が具体的な作業を進める中で直面した課題等を基に議論する中で、県保連としてマニユアルを作成する上でのミッションも定まってきました。

実習生はもちろんのこと、受入施設の職員もまた、安心感の下に実習を楽しみ、対話的な関わりを通じて学びを深めていく。それを支えるためのマニユアルを実現させたいと考えています。また、養成校との意見交換会でも触れられることが多くなった合理的配慮の視点も盛り込むことになりそうです。二月開

催予定の第四回委員会を経て、年度内の完成を目指しています。

海外交流委員会

委員長 認定こども園 原町保育園
鶴谷由美子

今年度は四年ぶりに海外交流研修の実施が叶いました。視察先は、南シナ海に面した東南アジアの国「ベトナム」。

ハノイ市内の保育教育施設の見学や今現在の国情勢などを伺うことができました。事後報告会では、海外に行ったことで自国について改めて考えるいい機会だったこと、子どもたちとベトナムについて話しながらベトナムのおもちゃで遊んでみたこと、一緒に過ごした仲間と繋がり情報交換もできたことなど、参加したみなさんが笑顔で報告する姿がみられこの研修が実りあるものであったと嬉しかったです。

来年度も六月に海外への視察を予定しています。日本とは違う文化や生活に触れ見聞を広めると共に、研修期間を共に過ごす仲間との親睦を深めるとてもいい機会になりますので多くの皆さまにご参加いただきますようお願いいたします。なお、募集要項は令和七年三月に出す予定です。

少子化等問題検討委員会

委員長 認定こども園 原町保育園
鶴谷由美子

毎年十一月は児童虐待防止推進月間と定められており、静岡県でも十六日に「児童虐待防止静岡の集い」が静岡市民文化会館中ホールで開催されました。静岡市内の園長などが参加しました。講演会では、自身の父親からのDVに苦しみこの世で幸せになることをあきらめ出家を決意した経験を持つ荒巻仁氏から「いい親ではなく笑う親になる」「いい子ではなく笑う子を育てる」をテーマに「笑育学」の話を聴きました。講演後は、荒巻氏の半生を描いた絵本も紹介されました。

毎年静岡県の皆さまに、子育て支援の関心と理解を求める啓発活動の経費を助成する制度を実施しています。ぜひ活用していただきたいと思えます。また、啓発品について「あいあいホットマーク」のクリアファイルのデザインを新しくしました。付箋セット、ピンバッチなどもありますので、協力金へのご支援もよろしくお願いいたします。



青年部会活動報告記

今回は、保育連合会青年部の活動をいくつかご紹介いたします。青年部ってどんなところ？どんな活動をしているのか、ご紹介いたします。現青年部会員の皆様も、まだ会員でない皆様もぜひごらんください。ご興味の方は保育連合会HPからも会員登録ができます。

西部支部研修会（青年部西部支部）

令和六年八月二日（金）にこども園、保育園に勤める男性職員を対象に交流研修会を実施しました。講師に講師（有）きのい羊達の須田裕之氏、兵藤 達也氏を講師にお迎えし、「子どもの笑顔を引き出す運動遊び」と題して、ご講演いただきました。講演ではポジティブな声掛けや積極的なレスポンスをすることで、子どもの自己肯定感がアップしやる気の向上や笑顔を引き出すことが図られることを資料等や実際に体験することで非常にわかりやすく説明していただきました。

後半はグループで、実際の職場環境やチームの良い点や改善点を整理し情報を共有するなかで、問題解決のために必要な方法は何かを話し合いました。どのグループも時間を忘れるくらい議論が白熱していました。

参加者の皆さんからは、本研修会で得た学びを自園で実践し、チームワークの向上につなげていきたいとの声が上がっていました。

令和六年度青年部視察研修会①

十月二日、三日、四日、日保協青年部主催の第四十五回全国青年保育者会議が沖縄にて行われました。県内からも実に多数の参加者があつたと聞いています。今回は発表者として静岡市のいさみ保育園の秋山勇人先生もご登壇されました。各分科会や記念講演、国の情勢にいたるまで大会のテーマである「紡ぐちむぐる憧れからの継承」にふさわしい大会でした。大会前はダブル台風の影響が心配されましたが、天候も安定し、盛大に大会が行われました。今回の全国青年保育者会議では大会テーマを「紡ぐちむぐる憧れからの継承」と題して、大切な思いを受け継いでいく、「ちむぐる」（肝心）は心という意味を重ねて「心」を強調するものだそうです。人の心に宿る深い思い、「心からの思いやり」子どもたちのため、私たちに出れることは何があるのかを今一度考えさせられた、先人たちの思いを大切にしながら、保育を受ける



け継いでいく大切さをしる研修でした。

令和六年度青年部視察研修会②

九月五日、六日全国私立保育園連盟青年会議主催の第四十三回全国私立保育園連盟青年会議が東京にて行われました。県内からも実に多数の参加者があつたと聞いています。

今回の大会テーマである「COREこどもたち、ど真ん中」の社会の実現に向け、保育者が学びを深め、子どもたちの明るい未来を考える機会になる大会でした。また大会での学びを園全体に広げ、より良い保育の実現に役立てられるような園内研修動画の配信などもしているように感じました。日本がこどもまんなか社会に向かう中、明るい未来を生きる子どもたちのサポーターとして、保育者はすでに『こどもたち、ど真ん中』という事を認識できる内容の大会であったとともに、これから保育が担う様々な問題に対してどう向き合っていくべきか考えさせられる内容でした。



九月五日、六日全国私立保育園連盟青年会議主催の第四十三回全国私立保育園連盟青年会議が東京にて行われました。県内からも実に多数の参加者があつたと聞いています。今回の大会テーマである「COREこどもたち、ど真ん中」の社会の実現に向け、保育者が学びを深め、子どもたちの明るい未来を考える機会になる大会でした。また大会での学びを園全体に広げ、より良い保育の実現に役立てられるような園内研修動画の配信などもしているように感じました。日本がこどもまんなか社会に向かう中、明るい未来を生きる子どもたちのサポーターとして、保育者はすでに『こどもたち、ど真ん中』という事を認識できる内容の大会であったとともに、これから保育が担う様々な問題に対してどう向き合っていくべきか考えさせられる内容でした。



各支部だより

東部支部 第四十五回 保育の日研修会

令和六年十月十九日（土）、富士市ロゼシアターにおいて、富士市、東部保育士会「睦会」と県保連東部支部の共催により、第四十五回保育の日研修会が開催されました。新型コロナウイルスによる中断を挟み、令和元年度以来五年ぶりの挙行でした。

本研修会は、保育者の知見や感性を高めることを目的にしており、専門分野に限定されない内容となっております。保育は全人格で当たるものであるため、幅広い経験や知識が生きてくるものと考えます。

本年度は、それまでの慣行であった抽選会を取り止め、時間も短縮して午後のみとしたため、参加者の減少が危惧されましたが、六百名以上の参加者を得ることができ、新型コロナウイルス禍以前と同規模の会とすることができました。開会式では、来賓として、衆議院議員の細野豪志様と富士市長の小長井義正様をお迎えし、それぞれご挨拶いただきました。

最初のプログラムは、フジテレビのアナウンサー 軽部真一様より、「アナウンサー人生と子育てを語る」と題してお話いただきました。トークショー形式によるご講演で、すみれ認定こども園長後藤恭佑氏と小泉こども園長佐藤美幸氏を相手に、ご自身の子育て経験を交えながら、お茶の間でもおなじみの軽妙な語り口をご披露下さいました。楽しい時間を

を過ごすことができた一方、最後は保育者への温かいエールをいただきました。

第二部は、「打楽器だけでコンサート?？」でもこんなに素敵な音楽に!!!をテーマにマリンバ奏者である十鳥勉様とパーカッションパフォーマーマンス集団ティール・ジェイ・パールの皆様による演奏でした。

プログラムには「マリンバ演奏」とありましたが、マリンバ以外の打楽器演奏もご披露いただきました。迫力ある素晴らしい演奏以外にも、合間に十鳥勉様から様々なお話をいただきました。十鳥様は、富士市内にある幼稚園の理事長先生でもあり、現場のことも深くご理解しておられ、参加者にとって、日々の役に立つお話も多かったと思います。

保育の日研修会は、行政と民間が協働し、公私立園の職員が一堂に会する貴重な機会と考えています。職場の垣根を越えて「保育者」として一体感を持つことが、一人ひとりにとって



って勇氣と活力になるとともに、状況や制度を動かしていく力となるからです。やはり全員で盛り上がる機会が必要であり、今後も、保育者のためになるとともに刺激のある保育の日研修を企画していきたいと思いた。

東部支部

支部長 中里保育園 青野貴芳

一、中堅保育者研修会 台風接近の為、中止

二、職員研修会（リモート研修）

期日 令和七年一月二十二日・二十日

講師 藤原里美 氏

内容 気になる子への対応

三、民間部会施設視察研修会

中止

四、新規採用予定職員研修会

期日 令和七年二月二十六日・二十七日

会場 富士市エスプラットフジスパーク

講師 土方良子 氏 講師 長澤弘子 氏

講師 土山雅之 氏 講師 名倉喜美江 氏

五、行政部会 書面開催

西部支部

支部長 ルンビニこども園 岡田泰稔

一、初任職員研修会

期日 令和六年九月十三日

会場 音楽工房ホール

講師 脇淵爾良氏いわのだこどもの森園長

二、新規採用予定職員研修会

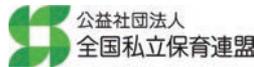
期日 令和七年二月十三〜十四日

会場 三ヶ日青年の家

中部支部

前号(93号)の掲載内容から変更ありません。

[全私保連推奨] 各種団体保険制度



ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間 (中途加入可能)



「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険 (学校契約団体傷害保険)」「職員団体傷害保険 (総合生活保険)」など、保育施設における最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間 (中途加入可能)



社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)



「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一の場合の育英費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新 (中途加入可能)



24時間のおケガ等からお守りすることに加え、学校からの貸出タブレットを含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL: 03-3865-3881
FAX: 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課社: 公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険 (レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険)・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険 (傷害保険) の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款になりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨 (総代理店)



「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・追加料金一切なし

すべての機能使い放題 /

月額 5,500円 (税込) のみ

無料体験実施中!



お申し込みは
コチラ



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886

印刷物からノベルティまで

おまかせください。



紙加工品のことなら**大日三協**へ

大日三協は、FSC 森林認証 (COC 認証) を取得し、森林認証紙の取り扱いをしています。



大日三協株式会社 静岡県静岡市葵区流通センター12番1号
TEL:054-265-5501 FAX:054-265-5502

しずおか保育士・保育所支援センター

静岡県・静岡市
委託事業

保育の仕事がしたい方と
人材を求めている保育所等との橋渡しをします

すべて無料で利用できます！

- ・各種相談（採用、労務等）
- ・事業所、求人登録
- ・求職者の紹介
- ・就職フェアへの出展 等



2018～2023年の
就職者数 **637名**

多くの方に採用活動・就職活動のパートナーとして、当センターを選んでいただいています。丁寧なマッチングが私たちの強みです。



事業所登録は
こちら♪

福祉のお仕事
保育のお仕事をお探しの方はこちら！

検索
方法

福祉のお仕事 トップページ ▶ 求人を出す を選択・クリック

<https://www.fukushi-work.jp/>



STEP1

「福祉のお仕事」から
事業所登録

STEP2

求人票を
作成

STEP3

しずおか保育士・保育所支援センターが、
求職者に求人のご案内をします!!

「福祉のお仕事」
ホームページ

お問い合わせ

福祉人材無料職業紹介所
厚生労働大臣許可



社会福祉 静岡県社会福祉協議会

中西部

静岡県社会福祉人材センター
しずおか保育士・保育所支援センター
TEL: 054-271-2110

東部

静岡県社会福祉人材センター東部支所
TEL: 055-952-2942

住所: 〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館 シズウェル 3階
開所: 月～金曜日 (8:30～17:00) ※祝日除く

住所: 〒410-0801 沼津市大手町1-1-3
沼津産業ビル2階
開所: 月～金曜日 (8:30～12:00/13:00～17:00) ※祝日除く

ホームページ



Instagram



さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう！ www.tobutoptours.co.jp



“Warm Heart”
～ありがとうの連鎖を～



東武
トップ
ツアーズ

静岡支店

〒420-0859

静岡県静岡市葵区栄町3番1号

あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル10F

TEL.050-9001-9697 FAX.054-252-9509

OA機器・システム商品・オフィス家具

経費削減のお手伝い

見積・相談無料



株式会社 Net



Net 沼津

検索

TEL 055-939-6100

沼津市米山町 12-15

みずなレコ

こども園・保育園・幼稚園向け
保育支援ICT

保育士の負担を軽減し保護者とのコミュニケーションを円滑にすることで、より質の高い保育を提供できます！

らくらく更新Web

園の紹介、情報公開は
簡単便利なホームページで！

苦情解決、事業報告、行事予定、アルバム等が園のパソコンで簡単に更新できます！

チェックインシステム

簡単操作のメール配信システム
低価格で多機能

緊急連絡他、アンケート調査、質問回答集計、閲覧状況、受信状況も把握できます！

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2 <http://www.dataeast.co.jp>
TEL:055-976-1057 FAX:055-976-1057 E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp



株式
会社

データサービスセンター

さまざまな危険からお子さまをお守りする

2024年版

『キッズガード』(園児総合保障制度(こども総合保険))

AIG損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には予測できないことも多く、何かとお心づかいのことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか予想もつかない事故の、確かな“おまもり”として本制度をお届けいたしております。

静岡支店 〒420-0851 静岡市葵区黒金町20-1
AIG静岡ビル5階

Tel : 054-255-5141

浜松支店 〒430-7715 浜松市中区板屋町111-2
浜松アクタワー15階

Tel : 053-454-0321

沼津支店 〒410-0801 沼津市大手町2-10-14

Tel : 055-963-8081

S-240663(202408)

未来は、あそびの中に。



JAKUETS



編集後記

業務処理が年々遅くなっているのか、業務が増えたのか、一つずつ着実に「丁寧に」やりたいと思いい、過ごしています。

今年で十年目？となりましたが、変わらず任期を全うしたいと思います。

湖西市 真愛三ツ谷こども園 松浦弘太郎

なんとなく満ち足りない。そんな貴方は是非広報委員会へ。アットホームで和気藹々とした一〇〇%ホワイトな環境があなただけのやる気を支えます。

静岡市 ほのぼの保育園 坂井玄気

年末年始は、インフルの猛威で大変な思いをした家族が多かったのでは。健康であることは生きる楽しみのもと！であると実感。皆さん免疫力つけましょう。

磐田市 中泉保育園 伊藤夫美

一年の計は元旦にあり！意気込んでみたものの、すでに計画倒れがいくつか…。

島田市 認定こども園エルフのゆめ 平野貴久

子どもたちが、健やかに成長できる環境を作れるよう目指したい。

御殿場市 神山認定こども園 本崎泰人

あけまして、おめでとうございます。

今年はい年、脱皮を繰り返すへビの如く新しい気持ちで一年を過ごしていきたいです。

富士市 すみれ認定こども園 後藤恭佑

今年はい卒園生でもある私の娘の同級生たちが保育実習に来ます。卒園してから保育士を目指すという姿を見て成長の喜びを感じつつ、私も頑張らなければと良い刺激になっています。

御殿場市 すみれこども園 鷹野一広

初詣して、お願い事をたくさんしました。宝くじも買って「幸」を待っています。みなさんのところにも幸がありますように！

静岡市 麻華こども園 中原美華

無事に九十四号が発刊できてよかったです。今年はいへび年、年男です。新しい何かが見つかるといいな！

静岡市 城北保育園 松田剛

久々の広報委員の二年間でした。ありがとうございます。

静岡市 麻機保育園 鈴木克明

わんぱくひろば



「ほいく静岡」94号

発行日：令和7年3月15日発行
発行者：一般社団法人静岡県保育連合会
420-0856 静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館
TEL：054-251-8873 FAX：054-253-4226
印刷所：大日三協(株)